

この一覧表は、年間指導計画の作成に必要な下記の内容について記載しています。生徒の学習状況に合わせて、年間指導計画を作成する際にお役立てください。

①分野

「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の分類を示しています。

領域

「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」の分類を示しています。

②題材名

教科書のページ数、題材名を掲載しています。

③学習活動

各題材の学習活動の流れを示しています。

④目標

各題材の目標を記載しています。教科書掲載の目標と同じものです。

⑤観点別評価規準例

表現中心の題材では3観点、6項目の評価規準例を、鑑賞中心の題材では3観点、3項目の評価規準例を掲載しています。

記載しているのはそれぞれ「概ね満足できる状況」（B）の評価規準です。省略した表記はそれぞれ次のとおりです。

（知）＝「知識・技能」の知識に関する評価規準

（技）＝「知識・技能」の技能に関する評価規準

（発）＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

（鑑）＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

（態表）＝表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

（態鑑）＝鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

⑥学習指導要領との関連

平成30年告示の学習指導要領との関連を示しています。

〔共通事項〕（1）アイについては、全ての題材に共通して当てはまることからこの一覧表では省略しています。

①		②		③		④		⑤					⑥	
分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						学習指導要領との関連			
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		※〔共通事項〕（１）アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。			
					知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	表現（態表）	鑑賞（態鑑）			A表現	B鑑賞
絵画・彫刻	表現や鑑賞	P.6～7 身近なものを描く	○身近なものを描くことに興味をもち、身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色づかいなどを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫して表す。	形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、身近なものやそれらを描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、質感などの表現方法を創意工夫し、主題に合った表現方法を追求して創造的に表している。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色彩、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いなどについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)		

令和8年度版『美術 1』 題材内容一覧、観点別評価規準例

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						内容解説資料	
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		学習指導要領との関連	
					知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	表現（態表）	鑑賞（態鑑）	※〔共通事項〕（1）アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。	
											A表現	B鑑賞
絵画・彫刻	表現や鑑賞	P.6～7 身近なものを描く	○身近なものを描くことに関心をもち、身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色づかいなどを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫して表す。	形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、身近なものやそれらを描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、質感などの表現方法を創意工夫し、主題に合った表現方法を追求して創造的に表している。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色彩、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いなどについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)
		P.8～11 風景を描く	○心ひかれる風景を表すことに関心をもち、風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きの表現などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心ひかれる風景を、光を意識したり構図を考えたりしながら工夫して表す。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをともに、風景を描いた作品を、全体のイメージや印象派が切り開いた絵画表現の作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題に合った表現方法を追求して創造的に表している。	心ひかれる風景を見つめ感じ取ったことや、その風景に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色彩、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	心ひかれる風景を見つめ、感じ取った特徴や風景に対する自分の思いなどをもとした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)
		P.12～15 〔作品を読み解く〕 「グランド・ジャット島の日曜日の午後」	○「グランド・ジャット島の日曜日の午後」を鑑賞し、ジョルジュ・スーラが追求した表現に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	「グランド・ジャット島の日曜日の午後」を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取る。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、ポスト印象主義の作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			ジョルジュ・スーラの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		ジョルジュ・スーラの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(ア) イ(イ)
		P.16～19 想像した世界を描く	○想像した世界を表すことに関心をもち、現実にはない不思議なことを想像することから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、構図などの構想を練る。 ○表したいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、夢や想像の世界を表す。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題に合った表現方法を追求して創造的に表している。	夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、構図などについて考え、イメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練っている。	想像した世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	想像した世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(イ)
	鑑賞中心	P.20～21 アール・ブリュットの世界	○アール・ブリュットの作品を鑑賞し、「つくりたい」という衝動から制作された独自の表現に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	アール・ブリュットの作品を鑑賞し、独自の表現のおもしろさを味わう。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、アール・ブリュットの作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			アール・ブリュットの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		アール・ブリュットの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)
		P.22～25 自己を表す（絵画・彫刻）	○絵画や彫刻、写真など、さまざまな方法で自己を表すことに関心をもち、自分を見つめ感じ取ったことから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、用具の使い方などの構想を練る。 ○形や色彩、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	さまざまな作品を鑑賞し、自分自身を工夫して表す。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、自己を表した作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を創意工夫し、主題に合った表現方法を追求して創造的に表している。	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自己を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	自己を見つめ感じ取ったことや考えたことをもとした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	自己を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(ウ)
		P.22～25 自己を表す （映像メディア表現）	○形や色彩、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。		形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、自己を表した作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラなどの用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、色光や構図などの写真表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自己を表した映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとした映像メディア表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	自己を表した映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	
		P.26～27 墨で描く	○墨による多様な表現に関心をもち、墨ならではの効果などから主題を生成する。 ○主題をもとに、墨の特性を生かして構想を練る。 ○墨の表現や余白の生かし方などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	墨による表現の豊かさを感じ取り、墨の特性を生かして作品を描く。	墨の性質や筆致の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、墨で描かれた作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	意図に応じて墨や筆の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫して創造的に表している。	墨による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、墨の特性を生かした表現方法などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	墨のにじみや濃淡による表現の豊かさなどの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	墨ならではの効果などを追求し、表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	墨の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(イ)
	鑑賞中心	P.28～33 〔作品を読み解く〕 「鳥獣人物戯画 甲巻」	○「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し、絵巻物ならではの表現に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し、絵巻物の表現のおもしろさや工夫を感じ取る。	形や墨の質感などが感情にもたらす効果や、時間表現の構成の工夫などの造形的な特徴などをともに、絵巻物を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			時間の流れを表現した絵巻物から描写のユーモアや構成の工夫、創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		絵巻物から表現の工夫や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(ア) イ(イ)
		P.34～35 北斎・広重から広がる世界	○北斎と広重の作品を鑑賞し、浮世絵ならではの表現の工夫やよさを味わうとともに、国外の作家たちに与えた影響に関心をもち、感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	北斎や広重の作品が、国外の作家にどのような影響を与えたか知り、表現の工夫やよさを味わう。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、浮世絵やそれに影響を受けてつくられた作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			浮世絵やそれに影響を受けてつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、浮世絵の創造的な表現の工夫や諸外国の作家に与えた影響などについて考え、日本の美術文化について見方や感じ方を深めている。		浮世絵やそれに影響を受けてつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、浮世絵の創造的な表現の工夫や諸外国の作家に与えた影響などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(ア) イ(イ)
		P.36～37 人の姿を捉える	○人の姿を表した作品に関心をもち、人の姿を見つめて感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、材料やポーズ、構成などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	自分なりに捉えた人の姿を、工夫して彫刻に表す。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをともに、人の姿を表した彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体で表す表現の方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	人の姿を見つめて感じ取ったことなどから主題を生成し、材料の特性を生かし、単純化や省略、強調、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	人の姿を表した彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	人の姿などを見つめ、感じ取ったことを彫刻に表す表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	人の姿を表した彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア)
		P.38～39 集めてつくる	○身の回りのものを見つめ直し、それらを材料に作品に表すことに関心をもち、材料に対する自分の思い、形や色彩の特徴などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、構成などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	材料の形や色彩から発想を広げ、組み合わせ方や展示方法を工夫して作品をつくる。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、日用品などを用いて表された作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体で表す表現の方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	材料に対する自分の思いなどから主題を生成し、材料の特性を生かし、形態や色彩の効果、材料の組み合わせや構成、展示方法などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	日用品などの材料をもとに表現された彫刻作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	材料に対する自分の思いなどをもとした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	日用品などの材料をもとに表現された彫刻作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア)
	鑑賞中心	P.40～41 私たちに問いかける美術	○社会の諸問題をテーマにした作品に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	社会の諸問題をテーマにした作品を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取る。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをともに、社会の諸問題をテーマにした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			社会の諸問題をテーマにした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		社会の諸問題をテーマにした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)

令和8年度版『美術 1』 題材内容一覧、観点別評価規準例

分野	領域									学習指導要領との関連		
		題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例				※〔共通事項〕（１）アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。			
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞
					知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	表現（態表）	鑑賞（態鑑）		
デザイン	表現や鑑賞	P50～53 伝えるデザイン	○情報をわかりやすく効果的に伝えるデザインに関心をもち、伝える内容や相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色彩、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	伝えたい内容に合った表現方法を考え、多くの人に伝わるように工夫してデザインする。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。	伝えたい情報や伝える相手などから主題を生成し、効果的な文字、図などの配置、構成、配色や表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	情報を伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的に伝える表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	伝えたい内容や伝える相手について考え、効果的に情報を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	情報を伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的に伝える表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)
		P54～57 暮らしを豊かに彩る文様	○日本や諸外国の文様に関心をもち、動植物やものの形の色彩の特徴などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、構成などの構想を練る。 ○形や色彩、材料、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、文様を全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。	身近なものや動植物などの形や色彩の特徴などから主題を生成し、形と色彩の組み合わせや構成などの効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。	日本や諸外国の文様の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色彩、構成の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きや、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。	身近なものや動植物などの形や色彩の特徴を捉え、工夫して文様をデザインする表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	日本や諸外国の文様の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色彩、構成の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きや、それぞれの国の美術文化について考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)
		P58～59 魅力的なパッケージをつくる	○パッケージのデザインに関心をもち、包むものや使う目的などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、材料、構造などの構想を練る。 ○形や色彩、材料、構造などを工夫し、見通しをもって制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	包む対象や使用方法を考え、形や材料を工夫してパッケージをデザインする。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、パッケージのデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法などを創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。	包む対象や使用目的などから主題を生成し、形や色彩、材料や構造、表現形式の特性などからパッケージの機能について考え、創造的な表現の構想を練っている。	パッケージの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色彩、材料や構造、表現形式の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	包む対象や使用目的について考え、形や色彩、材料や構造、表現形式などを工夫してパッケージをデザインする表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	パッケージの目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、形や色彩、材料や構造、表現形式の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ)
		P60～61 暮らしやすさのデザイン	○暮らしを豊かにするプロダクトのデザインに関心をもち、使う場面や目的などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、材料、構造などの構想を練る。 ○形や色彩、材料、構造などを工夫し、見通しをもって制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	暮らしにおけるデザインの役割を理解し、形や色、材料を工夫してデザインを考える。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、プロダクトのデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法などを創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。	使う相手や使用目的などから主題を生成し、形や色彩、材料などの効果や誰もが快適に使用できる機能などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	暮らしの中で使用するものの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色彩、材料や構造の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	使う相手や使用目的について考え、形や色彩、材料や構造などを工夫して、暮らしの中で使用するものをデザインする表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	暮らしの中で使用するものの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色彩、材料や構造の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ)
	鑑賞中心	P62～63 社会の仕組みをデザインする	○課題を解決するためのデザインに関心をもち、教科書の事例から、デザインの果たす役割や働きを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	社会の課題を解決する仕組みの例を知り、デザインが果たす役割や働きについて考えを深める。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、社会の課題や仕組みと向き合い、課題を解決するためにデザインされた作品を、全体のイメージなどで捉えることを理解している。			社会の課題や仕組みと向き合い、課題を解決するためにデザインされた作品の、目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。		社会の課題や仕組みと向き合い、課題を解決するためにデザインされた作品の、目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		(1)ア(イ) イ(ア)
映像メディア表現	表現や鑑賞	P68～71 写真で表す	○人物や静物、風景などを撮影することに関心をもち、身近なものを見つめて感じ取ったことや考えたこと、被写体に対する自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、視点や構図、光などの構想を練る。 ○カメラなどの用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	構図や光などを意識して、表したいイメージを写真で表現する。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、構図などの造形的な特徴などをもとに、写真作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラなどの用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	身近なものを見つめて感じ取ったことや考えたこと、被写体に対する自分の思いなどをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、色光や陰影、視点や構図などの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	写真の特質や表現効果などを感じ取り、写真作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、さまざまな時代における日本や諸外国の写真表現の特質について考え、見方や感じ方を深めている。	被写体に対する自分の思いなどをもとに、写真に表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。	写真の特質や表現効果などを感じ取り、写真作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、さまざまな時代における日本や諸外国の写真表現の特質について考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ) イ(ア)(イ)
		P72～73 アニメーションをつくる	○アニメーションに関心をもち、撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、光、構図、動きなどの構想を練る。 ○カメラやタブレット端末などの用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	さまざまな技法によるアニメーションを知り、撮影や編集を工夫して作品をつくる。	形や色彩、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、アニメーションを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラやタブレット端末などの用具の特性を生かすとともに、撮影の方法や用いる材料などを創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	撮影や編集方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとに、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、色光や視点、構図などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、撮影や編集の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	撮影や編集方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、撮影や編集の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ)
		P74～75 記憶に残る映像をつくる	○情報やイメージを効果的に伝える映像の表現に関心をもち、伝える内容や相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色彩、光、構図、動きなどの構想を練る。 ○カメラやタブレット端末などの用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	撮影や編集を工夫して、情報やイメージを効果的に伝える映像をつくる。	形や色彩、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、情報やイメージを伝える映像を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラやタブレット端末などの用具の特性を生かすとともに、撮影の方法や編集などを創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	伝えたい情報やイメージ、伝える相手などをもとに、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、色光や視点、構図や動きなどの視覚的な要素の働きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	映像の特質や表現効果などを感じ取り、撮影や編集の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	伝えたい情報やイメージ、伝える相手などをもとに映像に表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。	映像の特質や表現効果などを感じ取り、撮影や編集の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、生活や社会の中で、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ) イ(ア)